

# いずみさの教育

NOW

問合せ先  
学校教育課  
☎493-2091

## 「子どもたちの健やかな成長と未来のために」

今、教育現場で注目されている「非認知能力」とは、テストの点数では測れない「心の力」や「生きる力」のことで、例えば目標に向かって頑張り続ける「忍耐力」や新しいことに挑戦する「意欲」、失敗しても諦めずに立ち直る「レジリエンス（回復力）」などです。

変化の激しい現代社会において、子どもたちが将来、自分らしく幸せに生きていくためには、学力だけでなく、これらの「非認知能力」が不可欠だと考えられています。予測困難な時代を生き抜くためには、自ら課題を見つけ、解決する力が求められます。文部科学省も、学習指導要領で「生きる力」の育成を重視して、「非認知能力」は、そうした主体的な学びや問題解決の基盤となります。

「非認知能力」は、特別な教育プログラムだけで育つものではありません。保護者が少し意識を変えただけで、子どもたちの「心の力」は大きく伸びていきます。具体的に言うと、小さなことでも、

子どもが自分でできたことを認め、褒めることで、自信や意欲が育まれます。また失敗は学びのチャンスです。「次、頑張ろうね」と声をかけ、挑戦を応援することで、レジリエンスが養われます。他にも「どうしたらいいと思う?」「どうしてそう思ったの?」など、子どもの意見を聞き、自分で考えさせる時間を持つことが大切です。感謝の気持ちや思いやりなどを育むためには、日々の生活の中で「ありがとう」を伝えあうことで、社会性を育む機会を意識してみましよう。

「非認知能力」の育成は、学校だけでなく、家庭や地域が一体となって取り組むことで、より大きな効果を発揮します。教育委員会も、子どもたちの未来を応援するため、様々な取組を進めており、その1つに「My note」があります。ぜひ家庭や地域でも子どもたちの書いた「My note」を中心に話し、子どもたちが持つ無限の可能性を信じ「非認知能力」を育んでいきたいと思います。

## 学校園紹介



### 平和をつくる未来の君たちへ ～佐野中学校～

8月6日、広島に原爆が投下されてから80年のこの日に全校で平和学習を行いました。前半は、3年生のプログラム委員会による学習の経緯と、修学旅行で学んできた平和への想いが全校生徒へと伝えられました。日ごろから当たり前だと思っている幸



せが当たり前ではなかった時代があり、世界を見れば今もなお苦しんでいる人たちがいる、そのために優しい世界をつくっていくと、宣言してくれました。

後半はスーダンから日本へきて、本校の夜間学級で学ぶ家族が来てくれました。3年前からの内戦により、銃の音におびえ、いつ死んでもおかしくない、常に緊張を強いられる生活から、日本へきて安心して眠れるようになったそうです。最後にナジックさん、ノーハさんから送られたメッセージを紹介します。



「みなさんのしあわせをいのっています。いきているかぎり、ふかのうなことはありません。ベストをつくして、ゆめをかなえてください。」

ここにいたみんなが平和について深く考えるきっかけとなりました。

### 大木のみなさんと共につくる「みんなの学校」 ～大木小学校～

大木小学校は、児童と家庭・地域・学校の大人でつくる「みんなの学校」です。特に大木のみなさんは、児童のために様々な協力してくれています。



8月の登校日には、長生会のみなさんが児童たちと一しょに「ミニライトモルック大会」を開催してくれました。地域の人と児童が一しょにチームを作って、ゲームが進むと大きな歓声が聞こえていました。



また町内会のみなさんは「盆おどり」を教えに来てくれました。大木では「佐野くどぎ」のおどりがアレンジされていて少し難しいのですが、高学年になるとみんな上手に踊っています。

このほかにも「田植え」「たいこ教室」「もちつき」など様々な機会に大木のみなさんに協力してもらっています。地域のみなさんの力を借りながら大木小学校でないとできない体験を通して、学ぶことのおもしろさと人と交流する楽しさを感じ、いろいろなしあわせを発見していく大木小学校の児童です。

